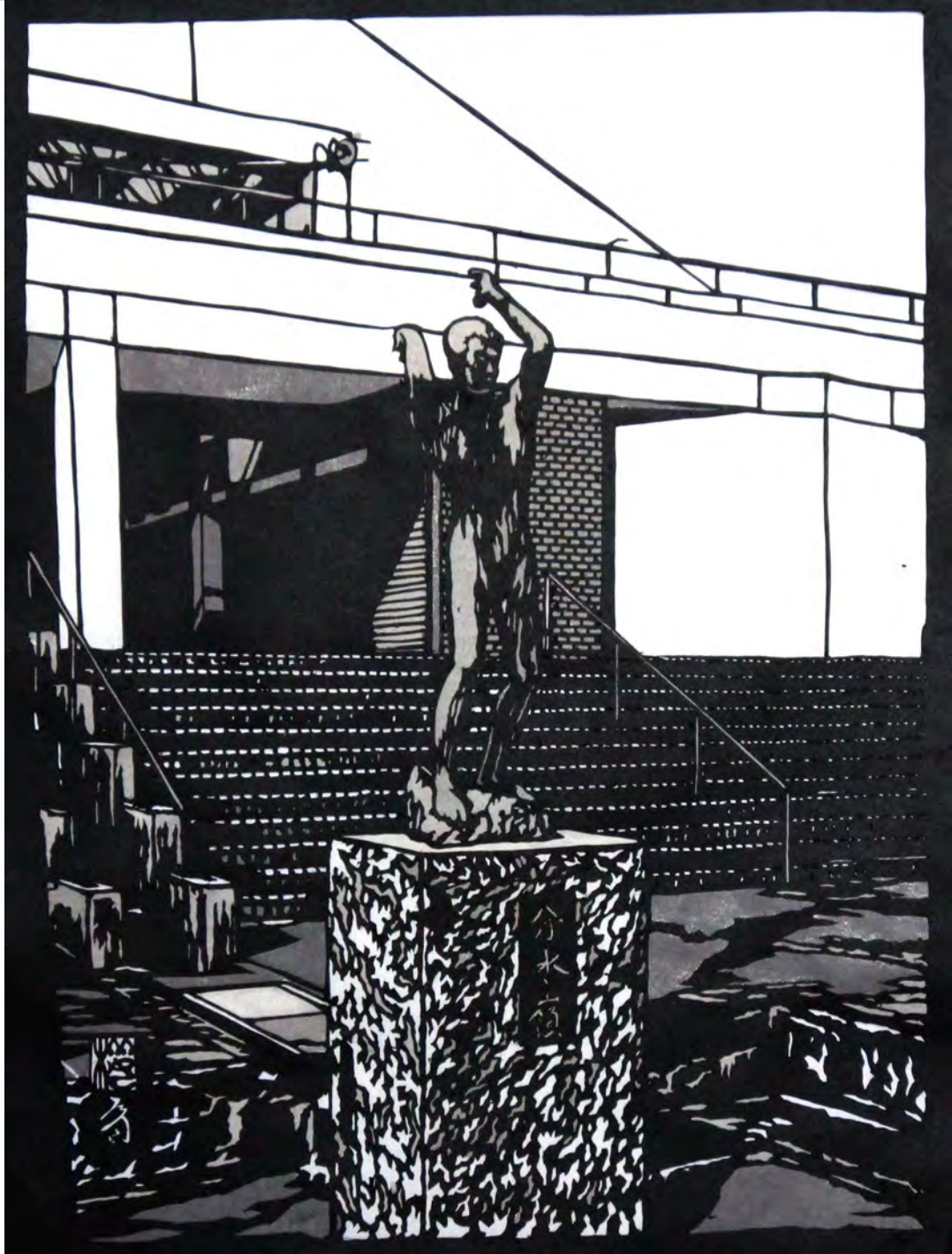


はーと&はーと

東海市国際交流協会会報 (No. 169)



(農業センター内 青年の像「分水嶺」)

地球の仲間たち

少し前の話ですが、東海市が推進する健康診断を受けるため診療機関に行き、一通りの検診を終えて待合室にいと「こんにちは」と背後から声がしました。振り返れば、そこにいたのは市内でカレー店を営業しているネパール人の店長でした。

コロナ禍にあってはマスク顔があたりまえになり、特に私は他人の見分けが苦手で、知り合いでさえ見わけがつかないことも多々あります。ましてや外国人の場合はマスクなしでも似た顔に見えてしまいますし、マスク越しではよほど自信がないと、こちらから声がかかれられません。私はつい「よく分かったね」と感心してしまいました。聞けば、やはり市の健康診断を受けに来たとのことでした。

以前は店で食事をすることもありましたが、最近はテイクアウトばかりでほとんど顔も見ませんでした。それでもこうして声をかけてくれると、とても嬉しく思います。

実はこの日、私は畑で採れ過ぎた野菜を彼や従業員に食べてもらおうとダンボール箱に詰めて持っていて、帰りに店に寄るつもりでいました。彼は

副会長 桜井敏彦

喜び「自転車に積んで帰る」というので渡し、私の妻の検診が済むまで待合室で話していました。彼はインドでインド料理を修業後、ドバイで4年間エスニック料理などを学んだそうです。私が「最近、従業員の入れ替えが多い？」と聞くと、「彼らはインド料理の資格しかないので働く場所が限られ、すぐに少しでも条件の良い店に移ってしまう」ということでした。

以前、私たちはカレー店近くの畑を借りていた時に知り合い、その当時から野菜をあげていたの、彼は時々どこに私の畑があるのか知りたがりです。近くなれば野菜を分けてもらいたいのでしょう。

いつも感心するのは、彼らは言葉を独学するようで、どのように勉強するのは分かりませんが生活の中で必要にかられて覚えるようです。会話は何とかなくても、読み書きとなるとやはり手助けが必要になるそうです。

因みにこの日、店は休日だったので、せっかく持って行った野菜が無駄にならず助かりました。畑の場所はともかく、私は彼らとずっとこんな関係を続けています。



“Do you believe in **fortune-telling**?”

「占いを信じている？」

“Sure, I can **read palms** a little”

「もちろん、手相も少しなら見ることができるよ」

東海市国際交流協会は
会員が主役です

協会活動あれこれ I

第19回スピーチフェスティバル開催

2022年8月20日、東海市芸術劇場で「第19回スピーチフェスティバル」が実施されました。

英語と日本語部門それぞれの審査員の感想の一部をご紹介します。

英語講師 Martin Bingham

I was very impressed by the standard of speeches and performances at the festival. Even the youngest participants reached a high level of English.

Everyone was very brave on what must have been a somewhat nerve-wracking occasion. There was certainly a wide variety of topics covered, from ancient myths to sustainable development goals. What came as something of a surprise was the emotional power of some of the speeches, for example when the topic of the war in Ukraine was being spoken about.

The festival was an extremely entertaining and informative event for me, and the English level was great. Well done, everyone!

私はこのフェスティバル参加の皆さんの、スピーチとパフォーマンスのレベルの高さに感動しました。一番低学年の出場者の子たちも、とても高い英語力に達していました。もちろん緊張する場面もあったと思いますが、皆さん本当に勇敢でした。フェスティバルではおとぎ話からSDGsのことまで、幅広いジャンルについての話題が取り上げられていました。中でも特にウクライナの戦争についてのスピーチでは、その想いの強さに驚きました。このスピーチフェスティバルは、私にとって大変有意義で楽しいものとなりました。皆さんの英語力も素晴らしかったです。



※ 来年度は20回目です。

皆様、ご協力よろしく申し上げます。

TIF 運営委員一同

協会活動あれこれ II

市民・会員のつどい「ウクライナの文化を楽しもう」を開催して

「モタンカ人形」はウクライナに古くから伝わる手作りのお守り人形で、娘のために祖母や母親が着た服の端切れや刺繍を施した布で作られ、それらを持つ人を災いから守り幸せを呼び込むとされています。その人形を、ウクライナから東海市に避難された、またその受け入れ家族のウクライナの皆さんに教えてもらいながら、市民・会員の皆さんと一緒に作るワークショップを開催しました。

また、ウクライナ模様の消しゴムハンコでトートバック、缶バッジを自分で作成する体験も参加者の皆さんに楽しんでいただきました。

他には 120 年前の刺繍を施した衣装、自然や建造物や料理の写真や動画、絵本、塗り絵など展示し、たくさんの方に観ていただきました。

ウクライナ避難民の方と市民とのワークショップでの交流をとおして、相互理解、ウクライナ文化への関心が深まることを願っています。

最後になりますが、準備などスタッフの皆さんの多大なご協力のおかげで開催できたことを感謝いたします。 堀 ゆき子



「ウクライナの文化を楽しもう」に参加して

わたしたちはウクライナの伝統や文化を伝えるとても貴重なイベントに参加しました。スタッフとして教えるのは初めての経験でした。モタンカ人形を紹介するだけでなく、作り方を教えたり、人形に込められた想いを伝えたりしながらお客さんと一緒に作ることは楽しかったです。日本語が話せなくても、和気あいあいとした良い雰囲気でお客さんと交流することができました。このイベントに関われたことを心の底から感謝しています。

サマラ リュドミラ（日本語訳 サマラ ヴラディスラダ、水谷智草）

ウクライナの文化についてたくさん知ることができました。愛のこもったモタンカ人形、美しい景色、素敵な刺繍の服…どれもとても興味深かったです。準備をしているときから当日までウクライナの方々はとても前向きに、熱心にサポートしてくださいました。感謝しています。彼女たちと一緒に仕事ができ嬉しかったです。この素晴らしい文化と温かい人々の幸せを祈ります。一日も早く戦争が終わりますように。 水谷 智草



東海市探訪

虫の報せ（教え）？

散歩コースで紫蘇の葉を大きくしたような見慣れない草を見かけ、なんとなく気になっていました。昨年夏、別な場所で子どもの頃からあこがれていた小さなカミキリムシを見かけました。その愛らしい姿は「こけし模様」とか「パンダ模様」といわれて、テレビなどにも登場することのある人気者のラミーカミキリです。

東南アジアからの帰化植物ラミー（和名カラムシ）という草を食べるので画像を検索すると、気になっていた草に酷似しています。早速現地調査をしたところ、たった1匹だけでしたが葉の上ですぐに見つかりました。草丈は2mを越す直立性で丈夫な茎の繊維は簡単に引きちぎれず、やはりラミーであることが分かりました。古くはこの地でも栽培されていたと考えられ、上質の繊維は布やロープ、魚網などに利用されたようですが、地元の人に聞いても分かりませんでした。

また、市内の公園では誰かに踏みつぶされた別のホシベニカミキリムシを見つけました。やはりあこがれの種で、ビロードのような深紅の体に黒い星をちりばめる美しいカミキリムシです。食草はタブノキで、画像検索により公園内にも似た樹木があることを知って調べたところ、木の周辺を飛び交う多くのカミキリムシを見ることができました。



このように私は昆虫や自然から多くのことを学んできました。

※採集家の乱獲防止のため地名表記は控えました。

会報委員 桜井敏彦

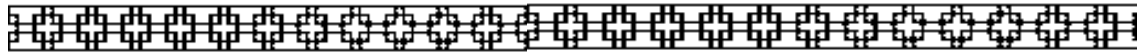
「地球の仲間たち」の投稿募集

会報委員会では、会報の名物コーナーとして「地球の仲間たち」を第169号まで掲載してきましたが、コロナ禍にあっては会員や外国人との交流機会が激減して話題集めに苦戦しています。

かつて、姉妹都市を訪問した経験のある方、ホームステイを受けた経験のある方などで、その後もお付き合いが続いている方は是非、情報をお知らせいただきたいと思います。また、現在は移動制限により再会ができないが、コロナ後には会う約束をして楽しみに待っているなど、交流に関わる内容の原稿を800文字程度でお寄せください。

このほか、国際交流に関わる会員の思い、希望などでも結構ですのでご意見をお寄せいただきたいと思います。なお、制限文字内での寄稿が苦手という場合は、箇条書きでも結構です。当方で取材するか原稿調整をしますので、是非ご協力をお願いします。

会報委員会



世界のお菓子 月餅 げっぺい (中国語 ユエビン)

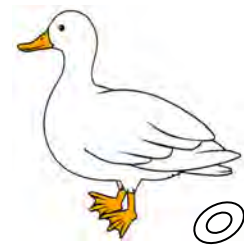
白く真ん丸なお団子をお供えする中秋の名月はとっくに過ぎましたが、今回は中国の伝統的なお菓子、月餅をご紹介します。何ともボリュームのあるお菓子で子どもの頃、東京のお土産で初めて食べた記憶があります。独特な形と味、いまだに記憶に残っているということは、よほどの驚きだったと思います。

ずっと和菓子の饅頭と思っていましたが、後にユエビンという中国のお菓子と知りました。餡の材料に卵、油脂やナッツ類、皮には小麦粉が使われていることを考えると、洋菓子に近い気がします。特徴的な硬い餡の味も魅力ですが、私はつやのある皮の模様が気に入っています。

新宿〇〇屋の月餅は、月と共に、稲穂や葡萄が浮き彫りになっています。昔は中国で中秋節に御供え物として使われ、ケーキのように家族で切り分けて食べたそうです。今は各自で食べられる個包装が主流、知人や親せき間で贈り物にする習慣があるそうです。中国で10年余り生活していた友人は、同僚や学生から沢山頂いたとのこと。

中に入っている濃い黄色の卵はアヒルの卵で、ねっとりしていて、煮卵のような舌ざわりが特徴的だそうです。

保存などの関係もあるのか、中国の月餅はあまりに濃厚すぎると言っていました。



竹内 かず子

= INFORMATION - 1 =

♡♡はーと&はーと 開催 ♡♡

2023年2月19日(日) 東海市芸術劇場多目的ホールにて開催します。
そのため、外国ブースの運営などに携わっていただけるスタッフを募集します。
今後、開催に向けて委員会などを重ねてまいります。

ご参加いただける方は、下記事務室までご連絡ください。

♡はーと&はーと スタッフ申し込み・・・TEL 0562-32-5339

E-mail tia@ma.medias.ne.jp

＝ I N F O R M A T I O N - 2 ＝

交流バスハイク 参加者募集

日 時：令和4年12月11日（日）（雨でも行きます。）
行 き 先：金閣寺・京都御所
集 合 場 所：東海市役所 西駐車場
集 合 時 間：8：00AM（帰着予定18：05）
参 加 費：会員 大人3,000円、小中生2,900円（昼食付き）
申 込 日：外国人10月16日（日）、日本人10月17日（月）から
先着順45名まで（外国人25名、日本人20名）
参加費を添えて事務局へお申し込みください。



インターナショナルデー 開催

令和4年11月5日（土）、6日（日）にインターナショナルカフェを開催します。
場 所：東海市立勤労センター多目的ホール
時 間：10：00～16：00
協会活動紹介、外国のお菓子＋飲み物を200円で販売いたします。
会員の皆様は会報最終ページに印刷してあります**呈茶券**をご利用ください。
今年は密を避けるため、当日のお手伝いは募集いたしません。ご了承ください。

ZOOMでたのしむ たぶんか交流 開催

日 時：10月30日（日）13：00～15：00
対 象：小中学生（国籍不問）
応募締切：定員になり次第締切ます。
会場：ZOOMによるオンライン開催



申し込みフォーム

大学の留学生のみなさんや会員のみなさんにもご協力をいただき、さまざまな国にルーツを持つ方たちに、自国の文化や生活習慣について紹介していただきます。日本の子どもたちも、日本の学校のことなどを紹介します。お互いの文化において違う点や共通点を理解し、多文化交流を深めるいい機会にしたいです。小中学生なら県内外を問いません。是非、お声かけください。

令和4年度 ボランティア研修会 開催

『ボランティア活動で便利に使うスマホ勉強会』
日時：令和4年12月20日（火）13：30～15：00
場所：東海市立商工センター3階中会議室
対象：会員15名程度 申し込み11月10日（木）より先着順
講師：吉田哲男さん（いきいきPC講師）

研修後、質問タイムを予定しています、ご活用ください。



＝ I N F O R M A T I O N - 3 ＝

日本語教室

日 時：第1・第3日曜日 14:00～16:00
第2・第4月曜日 19:00～20:30（オンライン授業）
場 所：東海市立商工センター3階中会議室他

子どもといっしょに日本語教室

日 時：第1・3木曜日 10:00～12:00
場 所：しあわせ村研修室他
（託児を希望される方は事前にご連絡ください）



フェイスブック QRコード



外国につながる子どもの学習支援教室

事前に事務室へお問い合わせください。
日時：毎週金曜日 18:30～20:30 / 場所：東海市立商工センター3階中会議室他
外国から来た子どもに宿題や勉強を教えるボランティアを募集しています。
興味のある方は事務室にご連絡ください。

在住外国人生活相談

英語、中国語またはタガログ語による生活一般相談
随時電話にて受け付けます。（予約制）ご希望の方は事前にご連絡ください。



※上記事業の詳細は事務室またはホームページ、フェイスブックでご確認下さい。

お問い合わせ等は協会事務室まで
open 月～金曜日 9:00～16:00（祝日はお休み）
協会事務室が留守の場合は市役所秘書課
TEL052-603-2211、0562-33-1111
ホームページ <http://www.medias.ne.jp/~tia/>
E-mail tia@ma.medias.ne.jp

発行日 令和4年10月1日
編 集 東海市国際交流協会会報運営委員会
発行者 東海市国際交流協会
〒 476-0013 東海市中央町四丁目2番地
TEL 0562-32-5339
FAX 0562-33-9029

き り と り

東海市国際交流協会 インターナショナルデー会場

会員無料 呈 茶 券

2022年11月5日（土）、6日（日）東海市立勤労センター

